

オンライントレーニングと 技術サポートの利用方法

大学サイトライセンス利用者向け

日本NI

2022年7月版

ni.com

Contents

ח

- 1. ソフトウェアサービスについて
- <u>ni.comユーザーアカウントの作成と</u>
 シリアル番号の登録
- 3. <u>オンライントレーニングの利用</u>
- 4. 技術サポートの利用
- 5. その他問い合わせ先

資料中でアンダーラインがある文字列はハイパーリンクになっています。

※注意点 この資料中で紹介する方法やユーザーインターフェースは ni.comの更新に伴って変更される可能性があります。

■■ ソフトウェアサービスについて

ソフトウェアサービスの内容

アカデミックサイトライセンス導入大学のユーザーは下記のサービスが受けられます。

- 1) 最新版のソフトウェアをアクティブ化
- 2) 過去バージョンソフトウェアのダウンロード
- 3) ni.comでのオンライントレーニング
- 4) NI技術部による技術サポート

これらのサービスを受けるためには、ni.comユーザーアカウントへの サイトライセンスシリアル番号の登録が必要です。 この資料では3および4の利用方法について解説します。

NIに対する追加費用負担は発生しませんが、学内の分担金等が必要になる場合がありますので、 担当者への問い合わせや学内Webサイトなどで学内運用ルールを確認してください。



ni.comユーザー アカウントの作成と シリアル番号の登録 ni.com

※すでにni.comユーザーアカウント作成済みの方、ユーザー アカウントヘシリアル番号登録済みの方はスキップしてくだ さい

ni.comユーザーアカウントの作成

<u>ni.com</u>を開き、右上のユーザーアイコンにマウスカーソルを合わせ 「ユーザープロファイルを作成してください」をクリック



ni.comユーザーアカウントの作成

必要な情報を入力し、 「ユーザプロファイルの作成」をクリック

ユーザプロファイルの作成

既にアカウントをお持ちですか?<u>ログイン></u>

氏(漢字)	名(漢字)

氏(かな)	名(かな)	

職種

指定してください

 $\mathbf{\vee}$

電子メールアドレス

パスワード (半角英数)

ユーザプロファイルの作成

どの企業も、プライバシーに対して真摯な対応を表明しています。 当社では、お客様の個人情報を保護するために、さらに厳重な対応 を実践しています。当社のプライバシーステートメントをご確認く ださい。

シリアル番号の登録

<u>お客様の製品</u>ページを開く

ni.comにログイン後、ユーザーアイコンに マウスカーソルを合わせ「製品」をクリック

※すでにシリアル番号登録済みの方は再登録は必要ありません



וה

シリアル番号の登録

ページ上部の製品登録ウィンドウに大学サイトライセンスのシリアル番号を入力し、 「登録」をクリック

※登録反映に最大24時間ほどいただくことがあります。 シリアル番号が不明な場合はサイトライセンス管理者に確認してください。 NIにお問い合わせいただいても、管理者以外にシリアル番号はお伝えできません。





オンライン トレーニングの利用

オンライントレーニングページへのアクセス

<u>オンライントレーニングページ</u>を開く ページ上部の「サポート」メニューにマウスカーソルを合わせ、「オンライントレーニング」を クリック



コース一覧の表示

<u>コース一覧ページ</u>を開く オンライントレーニングページ上部の「View Library」をクリック



ni.com

オンライントレーニングの利用

コースの検索・フィルタ

Browseテキストボックスに キーワードを入れてEnterを押すと コースを検索可能

Content Languageで 「Japanese」を選択すると 日本語字幕(英語音声)で 利用可能なコース一覧を表示

Browse			
Search for content			Q Sort by 🗸
 Learning Format Learning Path (98) Lesson (37) 		V	
Tutorial (6) VILT (5)	Advanced Architectures in LabVIEW - English Learning Path	Architecting Test Systems with TestStand - English 2020	Automotive Communication with NI-XNET Learning Path
 Learning Path Name Content Language 	The Advanced Architectures in LabVIEW Course teaches you how design and imp	Learning Path Building on the Developing Test Programs Using TestStand course, the Archit	Use NI-XNET to configure a communication database, send and receive frames
Chinese (6) English (103) French (2)	Start	Start	View Details
German (5) Japanese (7) Korean (6)	K K	$\langle \rangle$	
Portuguese (4) Spanish (6)	Battery Test System Safety and Maintenance Procedures	Continuous Integration Learning Path	Creating Web Applications Using G Web Development

■■■ オンライントレーニングの利用

日本語字幕が利用可能なコースの内容

- LabVIEW Core1
 - ・ LabVIEWを初めて触る人向けの初心者コース。
 - ・操作方法から、デバッグ方法や便利な機能の紹介、ループ1つの簡単なアプリケーションの作成まで、練習問題もちゃんとやると、丸3日程度の分量。
- LabVIEW Core2
 - ・ LabVIEW Core1を終えた人向けの初級者コース。
 - ループ2つからなる少し複雑なプログラムを作るときに必要となる知識を学ぶコース。また、ユーザーインターフェースの操作に応答するプログラムの作成も学ぶ。丸2日程度の分量。
- NI-DAQmxとLabVIEWを使用したデータ収集
 - ・ NIのDAQデバイスを使用したデータ収集の基本を学ぶコース。
 - ・ DAQの仕組み、アナログ、デジタル信号の生成と読み取り、カウンタの使用方法など、 DAQを使用するうえで重要なポイントを学ぶ。丸2日程度の分量。

▲ オンライントレーニングの利用

大学向け需要がありそうなコース(英語のみ)

- LabVIEW Core 3
 - 中規模プログラム(複数のループで計測、制御、解析、保存を行う)を作って、今後 様々な変更や拡張をする可能性が大きい人向け
- LabVIEW FPGA
 - ・ NIのFPGAハードウェアを使う人向け
- LabVIEW Real-time 1 2
 - ・ NIのReal-time OS搭載ハードウェア(CompactRIO、 PXI RT)を使う人向け
- Advanced Architectures in LabVIEW
 - ・ 大規模プログラム作る人向け
- Object-Oriented Design and Programming in LabVIEW
 - ・ オブジェクト指向に興味がある人向け

コース利用時に下記の画面が表示されたら

「Log in to see if you have access」をクリックしてni.comにログイン

LabVIEW Core 1 - Japanese - 2020

LabVIEW Core 1は、NI LabVIEW学習ジャーニーの最初のステップであり、 LabVIEW環境、データフロープログラミング、および一般的なLabVIEW開発手 法を1つの便利な形式で探索する機会を提供します。





Core 1/Core 2を受けるときのおススメ

2015版を受ける(トレーニングツールが2015の方が使いやすいため) ※トレーニングの内容は2020版とほとんど変わりません

LabVIEW Core 2 - 2020 -

Japanese

LabVIEW Core 2 2020コースは、LabVIEW Core 1コースの拡張版であり、一般的なデザインパターンを使用して、 研究、エンジニアリング、およびテスト環境向けのLabVIEWアプリケーションを正常に実装および配布する方 法を学習します。 ni.com

オンライントレーニング操作方法(2015 ver.)

受けたいトピック右の「Start Lesson」もしくは「Continue」を選択



オンライントレーニング操作方法(2015 ver.)

画面全体が表示されていない場合、解像度の高いディスプレイ・ブラウザのズームアウト機能の使用を推奨



オンライントレーニング操作方法(2020 ver.)

受けたいトピック右の「Start Lesson」もしくは「Continue」を選択



オンライントレーニング操作方法(2020 ver.)

画面全体が表示されていない場合、解像度の高いディスプレイ・ブラウザのズームアウト機能の使用を推奨





技術サポートの利用

ni.com

1 技術サポートの利用

技術サポートのスコープ

カテゴリ	対応範囲内	対応範囲外
ソフトウェア	NI製ソフトウェアの使用方法	他社製品(ソフト・ハード)の 使用方法
	サンプルプログラムの案内および 簡単なサンプルの作成	プログラムの作成・開発
	プログラム誤動作時の問題を 解消・回避するための提案 (トラブルシューティング方法の 案内や回避策の提案)	プログラムのデバッグ
	インストール、アクティブ化の トラブル	
ハードウェア	NI製品の接続と設定方法	他社製品の使用方法
	NI製品の故障判定とその対応	
その他	問題回避策の提案	

技術サポート依頼方法

<u>サービスリクエストマネージャ</u>を開く

「サポート」メニューにマウスカーソルを 合わせ「新規サービスリクエストを開始」を クリック

Л



技術サポート依頼方法

「技術サポートをリクエストする」をクリック

ホーム / サポート / サービスリクエストマネージャ



下記の画面が出てきた場合は、「シリアル番号またはシステムタグID」を選択して次へ進み 大学サイトライセンスのシリアル番号を入力

お客様のNIユーザプロファイルは有効な標準サポート・保守プログラムに関連付けられていませ

ん。

技術サポートのご利用には、有効なサービス契約が必要です。

その他のサポートオプション

NIコミュニティで解決策を探す サポートサービスの購入または更新 その他のサポート関連情報を探す

ご加入の標準サポート・保守プログラムをどの方法で確認しますか?

○ で確認します <u>サービスID</u>

で確認します シリアル番号またはシステムタグID

ご自分の標準サポート・保守プログラムの資格を確認するには、までお電話ください 0120-527196.

使用しているNIのソフトウェア・ハードウェアを入力し「次へ」をクリック

この問題が発生した製品はどれですか?

以下のフィールドに入力し、リストから選択して、使用している製品について詳しく教えてくだ さい。

ソフトウェア

サポートされているハードウェアモデル (以下のリストから選択してください)

-- または --

使用していたシステムを特定してください。

システム

Q

Q

Q

下記の情報を入力し、「次へ」をクリック

- 希望する連絡方法
- ・ 問い合わせ内容が分かる一行タイトル
- 問題の説明
 - ・ 推奨内容、文例は次ページ以降参照
- ソフトウェア、ハードウェアのシリアル番号

リクエストを作成

必須フィールド

ご希望の連絡方法 *

○ NIからEメールを送ってほしい.

○ NIから電話してほしい.

タイトル *

サービスリクエストマネージャでリクエストを識別するための件名を作成します.

問題の説明 *

最初に問題が発生したのはいつか、動作のパターン、そのときに使用していた製品やオペレー ティングシステムなど、問題に関する情報をできるだけ詳しく説明してください.

シリアル番号またはシステムタグID (オプション)

<u>シリアル番号を調べたい</u>

下記の内容を含んでいるとスムーズに回答しやすい

- 解決したい問題
 - ・ ソフトウェア、OS、ドライバのバージョン
 - ・ 問題の具体的な内容(エラー番号やハードLEDの状態などがあればそれも記述)
 - ・ 問題発生のタイミング(完全なランダム、プログラム開始後一定時間経過後、など)
 - ・ 問題発生の頻度(毎回、たまに)
- 問題発生のきっかけ(ハードの入れ替え、停電前後、プログラム改造、など)
- ・ (NI製品以外のハードウェアも使用している場合)メーカー名、モデル名
- ・ 使用しているプログラム
 - ・ NIサンプルならサンプル名、独自開発プログラムならその旨
- これまでに試したトラブルシューティング
 - シンプルなサンプルプログラムでも問題が発生するか
 - ・ 別のPC、別のケーブル、別のボード、別のポートでも問題が発生するか

技術サポート文例|プログラム実行時エラー

●ソフトウェアバージョン

LabVIEW 2020 (32bit) + NI-DCPower 20.0

●問題の具体的な内容

サンプルプログラム(NI-DCPower Source DC Voltage.vi)実行後、PXIe-4135のハードウェアの LEDランプが緑色から赤色に変わり、エラー-121212が毎回必ず発生する。

●問題発生のきっかけ

停電作業でいったん電源を落とし、再立ち上げを行った後から発生。

●トラブルシューティング

同じ個体を別のPXIスロットに入れて試したが、エラーは発生しなかった。

同じ型番の別個体を同じPXIスロットに入れて試したところ、エラーが発生した。

技術サポート文例 | ハードウェア認識不良

●ソフトウェアバージョン

確認方法がわからない

●問題の具体的な内容

USB-6346 をPCに挿して使用している。NI MAXでデバイスの接続状況を確認したが、黄色のビックリマークがついていて、LabVIEWから使用できない。

●問題発生のきっかけ

PCが故障して別のPCにデバイスを差し替えた。

●トラブルシューティング

LabVIEWを再インストールしたが状態は変わらなかった。

いくつか研究室内にあるPCを試したが、認識されるPCもあった。 同じPCの別のUSBポートでは認識されなかった。





問い合わせ先

ni.com

問い合わせ・連絡先

営業担当者連絡先(2022年7月時点)

鴨志田 敦史

Atsushi.kamoshida@ni.com

0120-527196(代表)/03-5401-7271(直通)

製品の構成に関する相談、技術的な提案が必要な内容のほか、問い合わせ先が不明な内容はまず はご連絡ください

見積の依頼用メールアドレス

<u>quote.request.Japan@ni.com</u>に必要な製品、数量を記載してメール

製品の注文用メールアドレス

<u>order.request.japan@ni.com</u>に注文書を添付してメール

注文書に含む情報:NIの見積書番号、納品先(担当者名含む)、請求書の送付先メールアドレス (担当者名含む)